政策　01　安全・安心に関する政策

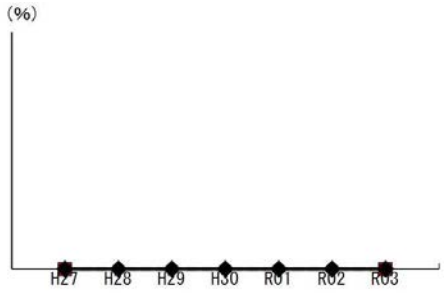
施策　02　上水道の安定供給

あるべき姿

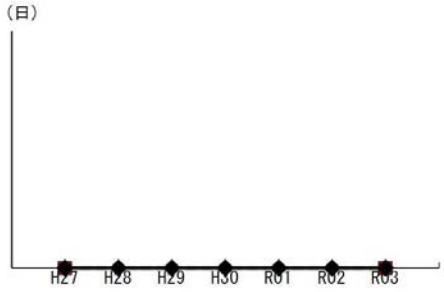
安全な水道水を安定的に使用することができます。

■施策の成果状況と評価

指標①	水質基準不適合率（%）【水道課】	基準値(H27)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R03)	対基準値
		0.0	0	0	0.0	☀（向上）
評価	（状況）水質基準不適合率は、前年度と同様に0%でした。 （要因）管路の管洗浄作業や定期的な水源井の点検、配水池等の清掃業務を例年どおり実施したことが挙げられます。引き続き適正な水質の維持管理に努めます。					対前年度 ☀（向上）
						目標達成度 （達成）



指標②	年間給水制限日数（日）【水道課】	基準値(H27)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R03)	対基準値
		0	0	0	0	☀（向上）
評価	（状況）渇水や水道施設の事故等のために、減圧などによって給水制限した日数は、前年度と同様に0日でした。 （要因）水道施設の日常点検をはじめ、設備等の更新や維持管理に努めてきたことが挙げられます。引き続き安定供給に努めます。					対前年度 ☀（向上）
						目標達成度 （達成）



■基本事業の成果状況と評価

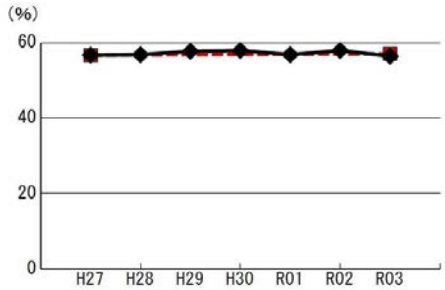
基本事業01　安定した水道水の供給

指標

水道施設利用率（%）

【水道課】

基準値(H27)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R03)
56.7	57.9	56.4	57.0



対基準値：（低下）
対前年度：（低下）
目標達成度：（達成）

評価

（状況）水道施設の効率性を表す施設利用率は、H29～R3平均値（57.3%）と基準値(56.7%)との比較では0.6ポイント向上しました。

（要因）対象の５年間における１日当たりの平均配水量を維持できたことが要因として挙げられます。引き続き、施設等を適切に管理し、安心安全な水道水の供給に努めます。

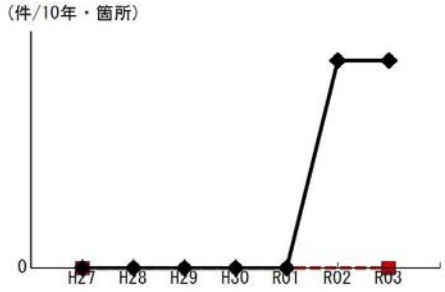
基本事業01　安定した水道水の供給

指標

浄水場事故割合（件/10年・箇所）

【水道課】

基準値(H27)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R03)
0	0.14	0.14	0



対基準値：（横ばい）
対前年度：（横ばい）
目標達成度：（低）

評価

（状況）浄水場事故割合は、前年度と同様に0.14%でした。

（要因）令和２年８月に発生した落雷の影響により吹上第二浄水場において送水停止が１件発生しましたが、今年度は施設等の故障に起因する送水停止などの事故はありませんでした。引き続き、適切な点検の実施により施設等の信頼性を向上させるとともに、落雷対策に努めます。

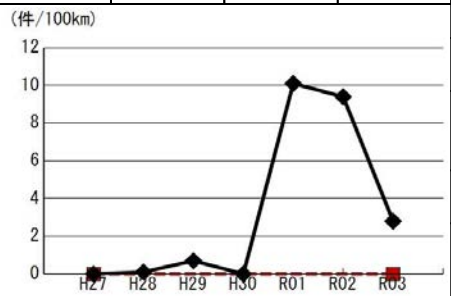
基本事業01　安定した水道水の供給

指標

管路の事故割合（件/100km）

【水道課】

基準値(H27)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R03)
0	9.4	2.8	0



対基準値：（低下）
対前年度：（向上）
目標達成度：（低）

評価

（状況）管路の健全性を示す管路の事故割合は、前年度(9.4%)と比較して、6.6ポイント向上しました。

（要因）昨年度に引き続き管路工事施工による事故は0件でしたが、老朽管等の自然発生的な漏水修繕が減少したことが挙げられます。

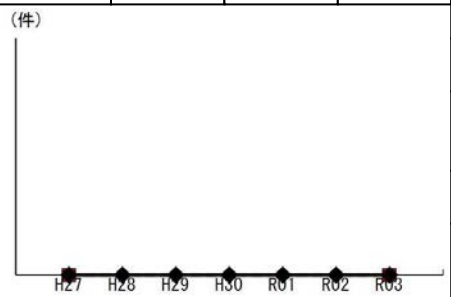
基本事業02　安全な水道水の供給

指標

水源の水質事故件数（件）

【水道課】

基準値(H27)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R03)
0	0	0	0



対基準値：（向上）
対前年度：（向上）
目標達成度：（達成）

評価

（状況）水源の突発的水質異常のリスクを表す水源の水質事故件数は、前年度と同様に0件でした。

（要因）定期的な原水水質の検査や水源施設（深井戸）の維持管理を実施したことが考えられます。

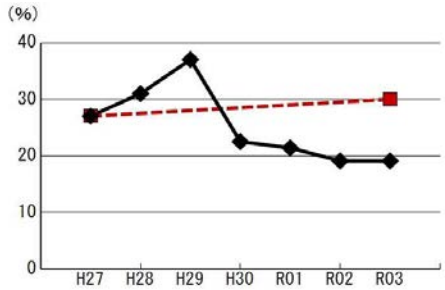
基本事業02　安全な水道水の供給

指標	基準値(H27)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R03)	対基準値
総トリハロメタン濃度水質基準比率（%）【水道課】	27.0	19.1	19.1	30.0	(向上)

評価

（状況）総トリハロメタン濃度水質基準比率は、基準値(27%)と比較して7.9ポイント上回り、前年度と同様に目標値を達成しました。

（要因）トリハロメタンは水道水の消毒として使用される塩素が原水の有機物に反応して生成される物質であり、消毒用塩素の注入が適量であったこと及び塩素の適正な保管により品質の劣化を防げた結果だと考えられます。



対前年度：(向上)
目標達成度：(達成)

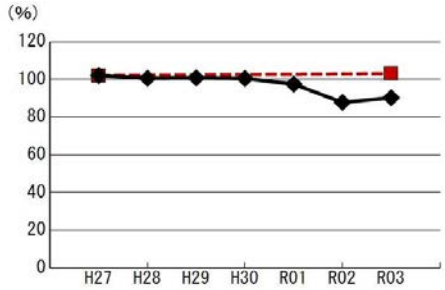
基本事業03　経営の安定化

指標	基準値(H27)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R03)	対基準値
水道事業営業収支比率（%）【経営業務課】	102.1	87.8	90.3	103.0	(低下)

評価

（状況）営業収支比率は水道事業の収益性を表す指標で、基準値(102.1%)と比較して、11.8ポイント低下しましたが、前年度との比較では2.5ポイント向上しました。

（要因）営業収益である給水収益が減少し、営業費用である委託料が増加したことが挙げられます。給水収益については、新型コロナウイルス感染拡大に伴う市民生活及び経済活動支援としての水道基本料金2ヵ月免除を行ったことが要因とされます。委託料については、安心安全な水道水の供給のために範囲を拡大して配水管の洗浄作業などを行ったことが要因とされます。



対前年度：(向上)
目標達成度：(低)

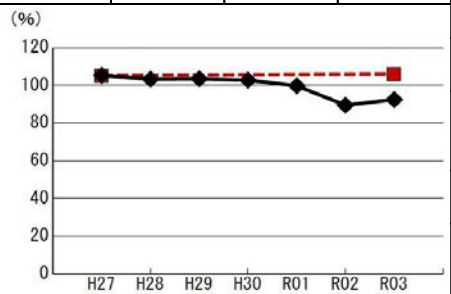
基本事業03　経営の安定化

指標	基準値(H27)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R03)	対基準値
水道料金回収率（%）【経営業務課】	105.3	89.5	92.5	106.0	(低下)

評価

（状況）料金回収率は水1立方メートルあたりの収益と費用の割合を示すもので、基準値(105.3%)と比較して、12.8ポイント低下しましたが、前年度との比較では3.0ポイント向上しました。

（要因）新型コロナウイルス感染拡大に伴う市民生活及び経済活動支援としての水道基本料金2ヵ月免除など給水収益の減少による供給単価の減少、委託料増加に伴う経常費用の増加により給水原価が上がったことが挙げられます。



対前年度：(向上)
目標達成度：(低)

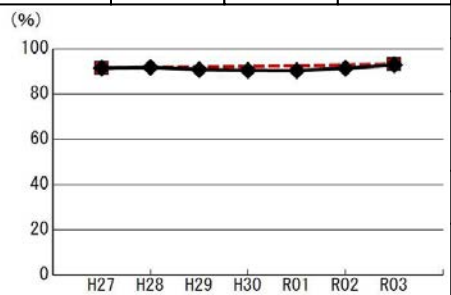
基本事業03　経営の安定化

指標	基準値(H27)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R03)	対基準値
有収率（%）【経営業務課】	91.4	91.3	92.8	93.0	(向上)

評価

（状況）有収率は、基準値(91.4%)と比較して1.4ポイント向上し、前年度と比較しても1.5ポイント向上しました。

（要因）消火活動による消防用水や管路の漏水、例年実施している水道水の濁りの原因となる水道管内の付着物や停滞水を強制的に排除する管洗浄作業による収入にならない水量は前年度と比較して低下しました。管洗浄作業は安心・安全な水を供給するために必要ですが、作業面積を含め計画的に効率よく実施し、向上に努めます。



対前年度：(向上)
目標達成度：(中)